

創立70周年記念 グリーン・エコー 第66回演奏会

広上淳一のロマンティック・バッハ！

1960年代、アーノンクールやレオンハルトがバロック音楽を当時の楽器と奏法で蘇らせようとしてから、一般のオーケストラでも、バッハやヴィヴァルディを「バロック風の」弾き方（ピリオド奏法）で演奏する場面が増えてきました。20世紀半ばの巨匠たちによるロマンチックな演奏に慣れていた聴衆には、それもまた新鮮な感動を持って受け入れられました。この半世紀の間、バロック音楽を古楽として楽しむことが定着する一方、カール・リヒターのように、現代の楽器（モダン楽器）で素晴らしいバッハを奏でた演奏も捨てがたい経験となってきました。今回、グリーン・エコーが初めて

バッハの大作「ミサ曲口短調」に挑戦するに当たって、指揮をお願いした広上淳一氏は、現代のフルオーケストラで極め付きのロマンティックなバッハを演奏したいと意気込まれています。バッハだからこう演奏しなくてはいけないという固定観念を捨てて、音楽の本質的な喜びに迫りたいというマエストロの意気込みは、「フーガの技法」を楽器指定なしで作曲したバッハの究極的な動機に通じるのではないのでしょうか。それは、音楽とは音ではなく心を奏でるものであるという確固たる信念であると想像します。

（河辺 泰宏）

東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳で第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、コロバス響、京都市交響楽団のポストを歴任。フランス国立管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響、サンクトペテルブルク・フィルなどへ客演を重ねる。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管にもたびたび招かれ絶賛を博している。

現在、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティストティック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一。2025年よりマレーシア・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督に就任。また、東京音大指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。2015年京都市交響楽団とともにサントリー音楽賞受賞。2024年第75回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

岩手県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科声楽専攻修了。第53回日伊声楽コンクール第1位及び歌曲賞（岡部多喜子・嶺貞子賞）。第17回東京音楽コンクール声楽部門第2位（最高位）及び聴衆賞を受賞。2023年第2回ジュディッタ・パスタ記念熊本復興国際オペラコンクール第1位。2024年5月にイタリア・サロンノ市で開催された第3回ジュディッタ・パスタ国際オペラコンクール第3位。

『トスカ』カヴァラドッシ、『カプレーチーとモンテッキ』テバルド、『ナブッコ』イズマエーレ、全国共同制作オペラ『ラ・ボエーム』ロドルフォ、ヴェルディ『レクイエム』、『第九』ヤソロ・リサイタルなどで出演し絶賛された。

次世代を担うテノールのひとりとして注目を集めている。

兵庫県出身。東京藝術大学大学院オペラ科修了。2015年、日生劇場『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロールでオペラデビュー。2017年に渡伊。ミラノで研鑽を積み、2018年第56回ヴェルディの声国際コンクール入選。2019年第10回サルヴァトーレ・リチートラ声楽コンクール第1位、同年『ラ・ボエーム』マルチェッロでヨーロッパデビュー。これまでびわ湖ホール『ばらの騎士』ファルナル、全国共同制作オペラ『ラ・ボエーム』マルチェッロ、東京都交響楽団『第九』などへ出演しいずれも絶賛された。

第37回姫路市芸術文化奨励賞、第25回坂井時忠音楽賞、2020年兵庫県芸術奨励賞の各賞を受賞。2022年第20回東京音楽コンクール声楽部門第1位及び聴衆賞など多数受賞。



©Masaaki Tomitori

Conductor
広上 淳一
HIROKAMI, Junichi

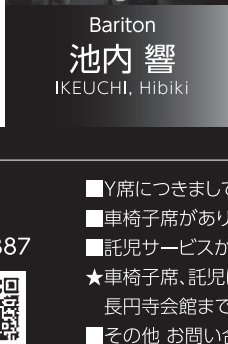


©FUKAYA aya2

Mezzo Soprano
金子 美香
KANEKO, Mika



Tenor
工藤 和真
KUDO, Kazuma



©SEGI

Bariton
池内 響
IKEUCHI, Hibihi



Soprano
高橋 絵理
TAKAHASHI, Eri



Mezzo Soprano
金子 美香
KANEKO, Mika



Organ
石丸 由佳
ISHIMARU, Yuka

国立音楽大学卒業後、同大学院修了。二期会オペラ研修所及び新国立劇場オペラ研修所修了。イタリアにて研鑽を積む。二期会『パリアッチ（道化師）』ネッダでデビュー後、『エロディアド』サロメ、『ファルスタッフ』アリーチェ、『フィガロの結婚』伯爵夫人、『蝶々夫人』表題役、グランドオペラ共同制作『カルメン』ミカエラ、日生劇場『ラ・ボエーム』ムゼッタ、びわ湖ホール『神々の黄昏』ノルン等で好評を博す。コンサートでも『第九』をはじめ、モーツァルト及びヴェルディ『レクイエム』、ロッシーニ『スターバト・マーテル』等で活躍。二期会会員

東京音楽大学声楽演奏家コース首席卒業。同大学院を経てザルツブルグモーツァルトウム音楽院マスタークラス修了。二期会オペラ研修所マスタークラス修了時に優秀賞受賞。二期会『ワルキューレ』グリムゲルデでデビュー以降、新国立劇場『カルメン』、二期会『オテロ』『魔笛』、日生劇場『ルサルカ』等で好評を博す。2018年総監督カタリーナ・ワーグナー氏のオファーによりバイロイト音楽祭に出演。P.ドミンゴ指揮『ワルキューレ』グリムゲルデで成功を収める。第15回日仏声楽コンクール第2位及び日本歌曲賞を受賞。平成24年度山口県芸術文化振興奨励賞受賞。二期会会員

シャルトル国際オルガンコンクールで優勝、併せてJ.アラン賞受賞。パリのノートルダム大聖堂をはじめとするヨーロッパ10カ国以上の各地、および日本全国でリサイタルを行っている。

東京藝術大学卒業、同大学院修了。デンマーク王立音楽院、ドイツ国立シュトゥットガルト音楽大学修了。両国家演奏家資格取得。

国内の主要オーケストラはもとより、リヨン国立管弦楽団やシュトゥットガルト州立管弦楽団とも共演。テレビやラジオへの出演も多く、これまでにない企画演出やプログラミングは各所で高い評価を受けており、オルガンの普及、教育プログラムにも尽力している。所沢市民文化センターミュージズ第5代ホールオルガニスト。武蔵野音楽大学非常勤講師。ココペリオルガンスタジオ主宰。

【チケット取扱／2025年12月1日発売開始】

- 長円寺会館／052-231-0955
- 愛知芸術文化センタープレイガイド／052-972-0430
- 名古屋市文化振興事業団チケットガイド／052-249-9387
- ローソンチケット[Lコード：41938]
- 店舗購入：ローソン・ミニストップ店内「Loppi」
- WEB予約：https://l-tike.com/



- Y席につきましては長円寺会館にお問い合わせ下さい。
- 車椅子席があります（2,000円）。
- 託児サービスがあります（無料）。
- ★車椅子席、託児につきましては二週間前までに長円寺会館までご予約をお願いします。
- その他 お問い合わせ／長円寺会館内グリーン・エコー

グリーン・エコー
〒460-0008

名古屋市中区栄2-4-23 長円寺会館内
☎052-231-0955

https://www.greenecho.jp

